

# かしみもと⑨

令和5年2月1日

発行者: 校長 佐藤 和暁

## 寒い!

2月に入り、暦の上ではもうじき春なのですが、このところ例年になく寒い日が続いています。先日も「十年に一度の寒波」などという言葉が聞かれたなど、今年の冬はいつになく寒く感じます。また、コロナとともにインフルエンザの流行も危惧される状況ではありますが、本校では今のところそれらの感染が大きく拡大する様子は見られません。保護者の皆様のご協力があったこそと感謝申し上げます。子ども達の中には、この寒さの中でも「半袖・短パン」で過ごしている姿も見られたので、「寒くないの?」と聞くと「大丈夫です。」との答え、よくもまあと感心してしまいました。

さて、今年度も残すところを2か月ほどとなりました。昨年度はこの時期からコロナが広まり、6年生の校外学習(修学旅行)や学年発表会が開催できなくなったことなどが思い出されます。これから学年発表会を予定している学年もありますので、これからも感染予防を継続し、今年度は計画通り実施したいと考えております。引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。

## 3学期始業式の話

お知らせが遅れましたが、3学期の始業式も上・下学年に分けて、体育館で行いました。毎回感じますが、顔を合わせて伝えることがいかに効果的であるかを確認することが出来ました。笹谷小学校の集会活動は整然と行うことが出来ます。私は常々「集会が整然と出来る学校は、いい学校」だと思っていましたし、機会あるごとに子ども達にもそのことを伝えてきました。3学期の始業式も上・下学年ともに整然と行うことが出来ました。

終業式での話を紹介します。

新年、あけましておめでとうございます。冬休みは楽しく過ごすことができましたか。2学期はとても長かったので、学校を離れて家で過ごす時間が2週間以上あったことは、とてもよい時間だったと思います。今日から3学期、新しい年が始まったので、気持ちも少し新しくして、また頑張りましょう。

さて、いつも言っていることですが、私は笹谷小学校を『いい学校』にしたいという願いをもっています。2学期の終わりに、皆さんや皆さんのお家の方に、笹谷小学校についてのアンケートをお願いしました。その結果からも、笹谷小学校が『いい学校』に近づいていることが分かり、私は嬉しく思いました。先生方も同じ気持ちだと思います。私が考える『いい学校』とは、「子ども達みんなが気持ちよく生活出来、自分の力を伸ばすことが出来る学校」だと考えています。気持ちよく生活出来るということは、いつも楽しいという訳ではありません。つらいことや苦しいことがあっても、それを乗り越えることが出来ることにも気持ちよさはあると考えています。そんな学校にしていくためには、『自分がされたり言われたりしたら嫌だと思ふことは、相手にもしない、言わないこと』を一人一人が出来るようにしていくことしかないと思ふ、4月から言い続け、そことを先生方にもお願いしてきました。そしてその成果は出てきています。ぜひ3学期もそのことを考えて学校生活を送りましょう。そのことは、皆さん一人一人がますます自分の力を伸ばすことにつながるはずです。

まだコロナも、そしてインフルエンザなども油断できません。感染予防にしっかりと注意しながら、修了式、そして卒業式を立派に出来るようにしましょう。

## 活躍しました

### 【福島県読書感想画コンクール】

優良賞 3年 菅野 美龍

### 【ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業】

県北教育事務所絆ふれあい賞 5年 儀藤優太郎

### 【ありがとうの手紙作文コンクール】

審査員特別賞 1年 菊地智歩乃